

筑波大学放射線・アイソトープ地球システム研究センター静電加速器実験施設利用料金

2025年4月1日

利用課題 の種類	分類	区分	利用単位と利用料金(円)	
成果占有	6MVタンデム加速器	宇宙用半導体照射	1日あたり	531,300
		加速器質量分析AMS	1日あたり	426,930
		マイクロビーム	1日あたり	588,220
		その他(6MVタンデム)	1日あたり	303,600
	1MVタンデトロン加速器	タンデトロン利用実験	1日あたり	125,230
	放射性同位元素利用実験	陽電子消滅	1日あたり	155,590
		メスバウアー分光	1測定あたり	64,510
		超伝導磁石(メスバウアー分光オプション)*	1日あたり	138,510
		低温測定(メスバウアー分光オプション)	1日あたり	37,950
		線源利用	1日あたり	53,130
	質量分析試料処理	AMS-炭素試料処理	1日あたり	159,390
	高精度放射線検出	高度化放射線計測	1日あたり	53,130
成果公開	6MVタンデム加速器	宇宙用半導体照射	1日あたり	105,750
		加速器質量分析AMS	1試料あたり	2,780
		マイクロビーム	1日あたり	105,750
		その他(6MVタンデム)	1日あたり	105,750
	1MVタンデトロン加速器	タンデトロン利用実験	1日あたり	40,340
	放射性同位元素利用実験	陽電子消滅	1日あたり	32,690
		メスバウアー分光	1測定あたり	18,080
		超伝導磁石(メスバウアー分光オプション)	1日あたり	50,780
		低温測定(メスバウアー分光オプション)	1日あたり	13,910
		線源利用	1日あたり	13,910
	質量分析試料処理	AMS-炭素試料処理	1日あたり	13,910
	高精度放射線検出	高度化放射線計測	1日あたり	13,910
トライアル	産業利用および産学連携利用を対象、期間1年、1利用単位は原則2日、成果等は公開(特許取得等の理由により2年延期可能)。		無料	

(注1)利用料金は総額表示。(注2)成果公開とは、秘密保持義務が生じない利用形態をいう。